

企業の競争戦略と政府による競争政策

准教授 海老名 剛

1. 研究内容

経済学, および, 数理的な分析手法, 思考能力を身につけることを目的とする. そのために, ミクロ経済学の応用分野 (産業組織論, ビジネス・エコノミクス, マーケティング・サイエンス), および, ゲーム理論を学習し, 企業の競争戦略的観点・政府の政策的観点の両サイドから, 経済・経営問題を考察できるようにすることを目標とする.

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は個別テーマの研究に先立って, 基本的な全体学習を行う. 並行して, 専門書の読み方, サーチの仕方, ハンドアウトの作成方法, 文章の書き方を学習する. また, 学習したツールを使いこなすことを目的として, グループで課題に取り組み, それを発表してもらう. 秋学期は基本的な全体学習に加えて, 担当教員が与えた課題についてディスカッションを行う. これと並行して, プレゼンテーションの方法についても学習する. 全員が参加を希望した場合, 夏季または春季合宿のいずれか一方のみを実施する.

《3年次》

3年次は特に, 学外に向けて研究発表や論文投稿を行うことを目的とする. 前年に引き続き, 専門書の輪読に取り組み, 論文執筆に必要な知識や技術の習得を行う.

《4年次》

各自が関心のあるテーマを設定の上, 卒業論文の執筆を行う.

3. 教材

2年次: 柳川隆他「ミクロ経済学・入門」(有斐閣), 伊藤元重「ミクロ経済学第3版」(日本評論社)

3年次: 花蘭誠「産業組織とビジネスの経済学」(有斐閣), 小田切宏之「産業組織論: 理論・戦略・政策を学ぶ」(有斐閣)

過去に使用した上記以外のものとして, 以下のテキストを候補として想定している(里中卓也「マーケティング・データ分析の基礎」(共立出版)). ただし, 受講生の興味関心を考慮したうえで決定する.

4. 成績評価の方法

課題への取り組み姿勢, 成果報告, ゼミナールへの参加および発言状況等, 総合的に判断する. また, 欠席時には, ゼミナールのメーリングリストにて, 事前に連絡することを求める.

5. ゼミ入室試験(選考方法)

選考方法につきましては, Oh-o!Meiji にて, 後日連絡します.

6. その他・志願者へのメッセージなど

本ゼミナールでは, 以下のような学生を希望する(真面目な人, 楽しく勉強する人, 数理的思考ができる人(必ずしも数学が得意な人という意味ではない)). 私の専門分野等に関心がある人は, 担当教員のホームページを参照すること. 質問があれば, メールによる問い合わせ, もしくはアポイントメントをとったうえでの研究室訪問を受け入れるので, 遠慮なく連絡してほしい. 最新情報については, 下記のWebサイトを参照すること.

<https://sites.google.com/site/ebinatakeshi2010/lecture-zeminaru-1>